

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年3月20日～2017年3月26日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年3月29日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「議会選挙」の決選投票(26日)

・3月12日に行なわれた「アブハジア共和国議会選挙」の決選投票が22小選挙区で実施された。グダウタ地区の1選挙区では5月14日に再投票が行なわれる。

・「議会」の定員35議席のうち30議席以上が、政党ではなく「イニシアチブ・グループ」によって指名された独立議員によって占められる。現職で立候補していた28名のうち当選したのは8名のみ。女性は1名のみ。

【南オセチア】

▼ティビロフ「大統領」のモスクワ訪問(21日)

・ティビロフ「南オセチア共和国大統領」がモスクワを訪問。プーチン露大統領と会談し、南オセチアの「大統領選挙」、安全保障、「国防」能力の強化について議論。「プ」露大統領は、「大統領選挙」に関し、「投票が憲法に則り、南オセチアの法律に厳密に従って実施され、発展のために好ましい新たな環境をつくりだすよう望む」と述べた。

2. 外 政

▼北欧・バルト諸国の国会議長らの訪問(20日～22日)

・北欧・バルト諸国8か国の国会議長・副議長らがジョージアを訪問し、NB8地域協力のフォーマットの枠内で会合を実施。マルグヴェラシヴィリ大統領、コバヒゼ国会議長、クヴィリカシヴィリ首相らと会談。南オセチア行政境界線付近の状況を視察。

・参加者はジョージアの欧州との統合および更なる改革の実施に対する支持を表明した。

▼内相のブリュッセル訪問(20日～23日)

・ムゲブリシヴィリ内相がブリュッセルを訪問し、アブラモプロス移民・内政・市民問題担当欧州委員、ハーン拡大・近隣政策担当欧州委員、ゴッテメッターNATO事務次長らと会談し、移民、国境管理、集団犯罪対策などについて議論。

・「ム」内相は、近日中にジョージアはEUROPOLとの協力に関する合意に署名し、EUROPOLのパートナーとなると述べた。「ム」内相によれば、ジョージアは犯罪対策に関して16のEU加盟国と二国間合意を結んでおり、13か国に警察駐在官を派遣している。

▼日本・ジョージア政務協議(22日)

・ジャラガニア外務次官らが訪日し、東京にてジョージ

アと日本の外務省間の第9回目の政務協議が行なわれた。二国間関係、政治・経済協力、多国間・地域的な協力のフォーマット、ジョージアの被占領地域の状況、欧州およびアジア・太平洋地域の情勢などについて議論。

▼外相の訪米(22日～24日)

・ジャネリゼ外相がワシントンで行なわれたグローバル連合外相会合でのISISとの戦いに関する会議に出席。

・ワシントンにて「ジャ」外相はフリーランド・カナダ外相、オマル・ソマリア外相、ビショップ豪外相、米連邦議会議員らと会談。

▼国連人権理事会での決議の採択(24日)

・国連人権理事会第34回会合にてジョージアが提出し、43か国が共同提案国となった決議「ジョージアとの協力について」が採択された。

・決議では、ジョージアの被占領地域における人権・人道状況に対する深刻な懸念が表明され、誘拐、不法な拘束、所有権の侵害、母語で教育を受ける権利・自由な移動・生活の権利の侵害、両地域における民族的な差別の問題が強調されている。また、国連人権高等弁務官事務所およびその他の国際的・地域的な人権監視メカニズムがアブハジア・ツヒンヴァリ地域へ入ることができないことを問題視し、地域における客観的かつ中立的、定期的な監視の必要性が主張されている。

▼外相のブリュッセル訪問(24日～25日)

・ジャネリゼ外相がブリュッセルを訪問し、ブリュッセル・フォーラムに出席。東欧・コーカサスに関する部会で演説を行なった。

・ブリュッセルにて「ジャ」外相はマケイン米上院議員らと会談。

3. 内 政

▼監視活動法案に対する大統領の拒否(20日)

・3月1日に国会が承認した、電話での会話や通信の監視・記録などの監視活動を国家保安庁のもとで行なう特別の組織の設置に関する法案に対し、マルグヴェラシヴィリ大統領は拒否権を行使。

・会見で「マ」大統領は、法案には2つの欠点があるとして、「第1の欠点は組織の独立性が保障されず、そのため憲法裁判所の決定に反することである。第2の欠点は、法案によって通信事業者に対し不公平で予測不可能な経済的負担が課せられることである」と述べた。大統領は監視活動を行なう組織を国家保安庁ではなく、首相の直接の監督の下に置くよう提案。

・与党議員らは、大統領の反対は「政治的に動機づけら

れた」ものであるとして批判。野党各党は大統領の意見に賛成するとの立場を示した。

・22日、ドリゼ国会担当大統領補佐官が国会で答弁。その後、国会は賛成86名、反対22名でもとの法案を再承認した。

▼国家安全保障会議(23日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領が国家安全保障会議を招集。黒海地域の安全保障環境、国防省改革、ジョージアの国防能力の強化、ブリュッセルで予定されているNATO首脳会議に向けた準備などについて議論された。

・クヴィリカシヴィリ首相、セシアシヴィリ国会国防・安全保障委員会委員長、イゾリア国防相、チャチバイア統合参謀長、ラクヴィアシヴィリ国家安全保障会議書記が出席。

▼TV局「ルスタヴィ2」の経営権の譲渡(25日)

・23日、TV「ルスタヴィ2」の現在の所有者カラマニシヴィリ兄弟が、TV局の株式の51%を保有するTV Sakartvelo社の株式の40%を従業員に譲渡すると発表。しかし、グヴァラミア・ルスタヴィ2社長は「カ」兄弟の申し出を拒否し、支配株式を譲渡するよう提案した。

・25日、「カ」兄弟は「グ」ルスタヴィ2社長の提案を受け入れ、TV Sakartvelo社の株式の51%を従業員に譲渡すると発表。

・22日、欧州議会で第3位の勢力である欧州諸国の政党グループ「欧州保守主義者・改革主義者連合」(ACRE)が、「ジョージア政府がメディアの多様性・自由を尊重し続けるよう強く信じている」との声明を発表。与党に加

わっているジョージア保守党もACREのメンバー。

4. 経 済

▼2017年2月の工業製品生産者物価指数(20日)

・国家統計局が発表。前月比1.0%上昇、前年同月比9.6%上昇。

▼2017年1月～2月の貿易統計(20日)

・国家統計局が2017年1月～2月の貿易統計(速報値)を発表。貿易額1,423百万ドル(前年同月比18%増)、輸出額356百万ドル(同27%増)、輸入額1,067百万ドル(同15%増)。

・輸出相手国の内訳はEU諸国29%、CIS諸国36%。輸入相手国の内訳はEU諸国26%、CIS諸国34%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、アゼルバイジャン、中国、ドイツ、ウクライナ、アルメニア、ブルガリア、米国、イタリア。

・日本との貿易高は輸出額845.7千ドル、輸入額19,285.2千ドル。

▼2016年のGDP(21日)

・国家統計局が2016年のGDP(速報値)を発表。名目GDPは33,921.6百万ラリ(14,332.8百万ドル)。国民一人当たりGDPは9,117.7ラリ(3,852.5ドル)。実質GDP成長率2.7%、GDPデフレーター4.0%。